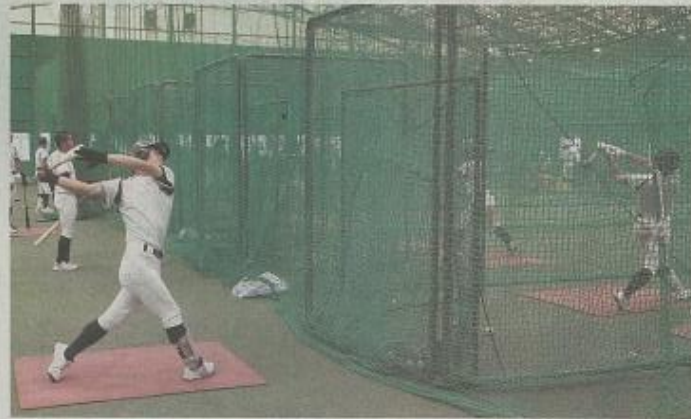




準決勝に備え、投球練習を行う工大一の投手陣。27日、八戸市



打撃練習に汗を流す八学光星のメンバー。27日、八戸市

東北大会懸け きょう準決勝

青森県 森野 青森高校

春季青森県高校野球選手権は28日、八戸市長根球場で準決勝が行われる。昨秋の東北大会4強の工大一は弘学聖愛と、昨春王者の八学光星は青森山田と、それぞれ東北大会（6月7〜12日・福島県）の出場権を懸けて激突する。

春大会の成績を見ると、工大一は打率4割2分6厘で打撃が好調。7個の盗塁は準決勝出場チーム中最多で、小技も絡めた攻撃が光る。弘学聖愛は、準々決勝を中盤の猛攻でゴールド勝ちし、勢いがある。本塁打数も4チーム中トップで、長打力も大きな武器だ。

八学光星は、2試合でチーム打率5割2分6厘、30安打と圧倒的な攻撃力を誇る。昨秋の県大会では青森山田に零敗を喫しており、リベンジに燃える。青森山田は、2試合で失点3と堅守が持ち味。打率、打点ともに4チーム中最下位だが、隙のない野球で試合巧者ぶりを発揮する。

八戸地区2校は準決勝前日の27日、室内練習場などで最終調整。工大一の砂瀬人主将は「県大会優勝が目標。自分たちが積み上げてきたものを出せば負けはない。弘学聖愛は勢いに乗っているが、どつしりと構えて戦う」と闘志満々。八学光星の洗平歩人主将は「青森山田は守備力が高いが、持ち味の打撃を瓦解できれば良い結果になる。（エースとして）今大会は自分の投球がふがいないので、強い気持ちで投げたい」と意気込みを語った。

（福田駿）

準決勝進出校のチーム成績

チーム	試合数	打数	安打	打率	長打			得点	打点	三振	四死球	犠打	盗塁	失策	失点
					本	三	二								
工大一	2	54	23	.426	0	1	2	24	21	6	13	5	7	1	5
弘学聖愛	3	82	23	.280	4	2	5	28	26	12	19	7	4	3	9
八学光星	2	57	30	.526	1	4	7	28	26	1	12	4	2	2	8
青森山田	2	58	13	.232	0	2	4	7	7	16	11	3	2	2	3